

Discours de la Méthode de Théorie et Pratique pour des Études A^sémantiques

ムッ意味論研究実践方法序説

Asada Masato

浅田正人

ておりあ

1.0 テオリア^め 飼い犬いいか？メアリ，お手！

本稿では「ことばのあそび」を取り扱う。ここで *jeux de mots* とか言葉遊びという，よりこなれた表記をとらなかったのには理由がある。「ことばのあそび」には，言葉を用いて能動的に遊ぶ意味と，言葉の冗長性の両義を含ませることができるからである。言語は意味を伝えるものと考えられがちだし，それは確かにその通りなのだが，記号の体系一般についてと同様，伝達内容をそのままの形で送信せず一旦記号

1

revolutionary, there is one thing which it cannot do: communicate a thing.

言葉は，コミュニケーションを可能にすると同時に不可能にする。SFの世界（とは限らぬかもしれぬが）に登場するテレパシー，ファンタジーの世界のドラゴンの言語などというものは，既存の伝達媒体への失望を表明するものであるかもしれない。「ことばのあそび」は第一の意味において言語による伝達の不可能性を意識化する手立てであり，第二の意味においては同じ不可能性の発現なのである。

飼い犬メアリは果たして要求通りお手をしてくれるでしょうか...それって，只のテリアなんじゃ...{{{{(*)}}}}

1.1 死んでいる電子 と 死んでる遺伝子

このような不可能性にも関わらず，言語という名の，人の精神を肉体の檻から解放する¹拘束具¹について，何も絶望する必要はあるまい。私が *Freiheitsbestrafung* という用語に初めて接した時，自由を奪う刑でなく逆に無制限の自由を与える刑罰かと勘違いしたというのは，単に私の性向故のことかもしれないが，兎も角，制限があるからこそその範囲内で無限の可能性を求める人の営みがあるのであり，詩的言語や様式美が生まれるのである。定型律は自由にする。言葉遊びやノンスセンスの長い伝統は，言語の伝達可能性を脅かすことにより

の形に encode して通信する限りにおいては，必然的に二つのことが起きてしまう。それは，情報の取捨選択と，余剰な情報の付加である。これは，必ずしも伝達者が意図的に行うというのではない。記号の体系の要請により必然的に起きてしまうものも，偶発的要因によるものもそこには含まれる。極言するなら，George Mikes が定義の働きについて述べた文の一節の *definitions* を *verbal communication* に置き換えた，次のような警句が成り立つであろう。

The trouble with verbal communication is that, although it can be illuminating, witty, amusing, original and even

2

再確認する，絶えざる過程であった。比喻で表現するなら，ノートパソコンの画面が正しくスリープしているかどうかを確認すべく，絶えず蓋を開閉する神経症的症候なのである。（訳の分からん比喻だと思った人へ，比喻というものもまた言語の機能の一つであるので，母体となる言語と同様の自己矛盾を孕んでいる。比喻は，明らかにすると同時に，分からなくする。）

記号体系の二重性 古典的にはシニフィエとシニフィアンから成立するということ について，いま一度想起して戴きたい。理想的にはあくまで媒体であるべき記号自体が自己主張するとき主客が転倒し，意味の増殖と崩壊が始まり，言葉遊びが生まれる。但し言葉遊びは大まかに分類すると，意味の領域に大きく依存するものと，主として言葉の記号としての性質に依拠するものに分かれる。簡単な判別法は，それを類縁性のない任意の言語に翻訳して了解可能か否か，である。例えばある落語の小咄は，次のような¹²拙訳¹²でも成立するであろう。

Once upon a time, a Snake, a Frog, and a Centipede had a party, and one of the guys had to go buy some booze. The Snake said to the Centipede, "You got that many legs, I bet you can dash to the store and back again in no time at all." So the Centipede went out of the room. A couple minutes

later, the Frog went to the hall and was surprised to find him there. "O Centipede, you're incredibly fast. You're back already?" "Nope. I'm still putting on my shoeses ..."

本稿で取り扱うのはこの類ではなく、(通常の意味での)意味を捨象するところから始まる。

なお、ことばのあそびが生じるのは何も文学的、詩的言語運用に限るのではない。

ネットワーク管理者がネットワークの接続の設定を使用可能にしていれば、Microsoft Windows を使用して、ネットワークの接続試験を行ったり、自動的にネットワークの接続の設定を見つけることができます。Windows でネットワークの接続試験を行ったり、ネットワークの接続の設定を見つけたりするには、[ネットワークの設定の検出]をクリックしてください。

などというメッセージは、惣流 = アスカ = ラングレーならば一言「あんたバカあ?」、更に綾波レイなら「.....」で済むことを、長々と表現することにより婉曲し、このシステムは周到的配慮の下に構築されており、望みの機能を引き出せないのは専らユーザの無能さの所以である、と宣告するものに他ならない。意味の外延は国会答弁でよくみられるように何も明かさないことであったり、狭義の意味を打ち消すことであったり、正反対のことを述べることでさえある。

3

対称性という言葉をもっとも広くとると、あるパターンの反復と言えるのではないか。フラクタルは無限な自己対称性をもつ図形である。線対称性は図形の二つの部分が鏡像関係で反復されているのであり、点対称性は (実は任意の角度でよい) 回転させた場合に同形で重なるものを言う。同形反復をすべて対称性と呼ぶことにすると、詩のリズムは聴覚的 (時に視覚的) 対称性の現れということになるのである。

言葉遊びの王道と言えば、地口、駄洒落、要するに同音語や類音語が、相互に大きく異なる2つ以上の意味を指示することを基礎としている。ここで同音異義語 (homophones) という用語については理論的に問題があって、一般に一つの語の多義性 (ambiguity) であるのか、複数の語の同音性であるのかを共時的に決定する術はない。

うちの猫はカニかんが好きだ。

うちの猫はカミさんが好きだ。

における「好き」は所記言語の影響もあって、常識的には多義性と考えられる。同様の理由で、草の葉と刀の刃は多くの日本人にとって同音語と感じられるが、英語の blade などと考え合わせると多義性かとの疑念も生じる。このような面倒を回避するために、すべてを同音性で見なす、同音性の最大化という立場が考えられる。

同音と類音についても、明確なようで案外その峻別は困難

コンピュータ「言語」で言葉遊びは可能であろうか? マシン語のニーモニックを文にしようとしていてはプログラムにならないかもしれないが、そこにも冗長性や文体の入り込む余地は十分にある。遺伝子のコドンの6ビットを、英数文字 + スペースとピリオドに割り当てて、ゲノムの中に神からのメッセージを読み解こうとする人もいる。(誘拐された分子生物学者は、インフルエンザウイルスにSOSを暗号化して流行らせればよいという話があるぐらいだ。) 声の質とか、字の上手下手、響きの美しさ、文字配列の対称性など、付加的情報を一切捨象した、純粋なデジタル情報たる遺伝情報においてさえ、**言葉遊びは可能である**。^{*3}

斯くして、死んでいる電子のeが転移してイオン化すると死んでる遺伝子が生成するのだ。

1.2 類音の ラブ/愛 油/ノンオイル

さて、筆者は nursery rhymes を表向きの専門としつつ、実は概ね言葉遊び専攻である。詩と言葉遊びの類縁性を疑う人はいないだろう。詩を成立させる韻と律という二大要素が言葉遊びについても主要な2つのジャンルを指し示している事実は興味深い。韻とは類音性であり、律とは対称性なのである。

4

である。大きなカラスと、デュシャンの大ガラスは鼻濁音か否かの区別があるとされるが、聞き分けられる人は多くないかもしれない。砂糖屋と里親では微妙に音が違うらしいが、これまた弁別的差異と言えるかどうか疑わしい。このように考えると地口や洒落の類は総称して、類音性に基づく言葉遊びと分類することができよう。異なる2つ(以上)の可能な意味が相互に大きく違っていればいるほど言葉遊びとしてのインパクトは大きくなる。

ブルーベリー茶は目の薬になりそうだけど、じゃあ、目の毒になるお茶って? どくだみちゃ

という場合、「毒」が共通であるため、洒落としての出来はイマイチと言えるだろう。同じく謎々のスタイルでいくと、

ほんとは割と近いのに、すごく遠くにあるという名前の島は? バリ島

の方が美しい。但し、前者には segmentation の意外性という別の要因が含まれているが、これは古典的には「なぎなた読み」と称されるもので、どくだみ+茶/毒だ、見ちゃ と分節の切れ目がずれるのである。私事ながら、うちのご次男は不幸にして私の言語感覚を受け継いでいて、小1の頃、誤ったセグメンテーションで大変笑わせてくれたことがある。奴はシーチキン好きなのだが、ある日お駄賃をもってコンビニへ出かけ、喜び勇んで買って帰ってきたパック詰めはどう

見ても鶏の唐揚げである。チキンとシーチキンは別物だよと言うと、そんなことぐらい分かるとるわい、と答える。よく見ると、その商品名は「スパイシーチキン」であった。

広義の類音に含めることもできるが、音の転位による言葉遊びは、これとはかなり異なる外観を呈する。油 アラブ や ツグミ 紬 ぐらいならば容易に気づくだろうが、これは私の知っている米国人の名前で Timothy Roller Mother: ill Tory のようなアナグラムを瞬時に復元できる人は多くあるまい。その意味で、転位による言葉遊びは類音による言葉遊びと比べて、より抽象度が高いと言える。

さて、シニフィエとシニフィアンというか、意味と形態というか、或いは、狭義の「意味」と付随的・偶発的「意味」というかの不一致ないし相克が顕在化するのが、翻訳、そして詩や言葉遊びの場面である。翻訳においては、意味以外に文体や韻律、更には元の言語に特有の連想や象徴性を移し替える要請が生じたり、ターゲットとなる言語でもほぼ同量にしなければ字幕スーパーから溢れたり、同じ旋律で歌えなかったりするからだ。また、詩や言葉遊びにおいては言葉の形態が、少なくとも意味内容と同等の意味をもち、或いは形態の要請により意味が決定されるため、我々は通常のコミュニケーションのあり方からの逸脱を経験する。たとえば次のようなライムにおいては、

意味と形態の二重性の相克が表面化する場合は、翻訳であり、言葉遊びである。言葉遊びを始める前に、筆者は nursery rhymes の翻訳をライフワークとしているので、少々パソコンを割きたい。(…いや、メモリも2Gまで増設して肌身離さず持ち歩いているこの PowerBook G4 17" 1GHz を分解したい訳ではないが、とある独文学の大家が「ペンを割く」と書いておられたので、私も一度こう書いてみたかったのだ。)

純粋に狭義の意味を伝えるだけでも、翻訳というものは、容易にはいかないが、詩や言葉遊びの翻訳の場合、これは一層困難となる。例えば元の言語でAとBという語が使われていたとして、ターゲットの言語では(概ね)aとbという語がその意味を表すとしよう。だが元の文が洒落になっていてAとBが同音語であり、その言葉遊びを伝えたいとしたら、bでなくaと同音となる別の語cを使うべきか否か、検討せねばならない。例えば次のライムは子どもにABCを教えるものである。

Great A, little a,
Bouncing B,
The cat's in the cupboard
And she can't see.

ここで bouncing はBの文字の形状を表す以外に、Bの頭韻を響かせることが重要なのである。cat と cupboard と can't

I went down town
To meet Mrs Brown.
She gave me a nickel
To buy a pickle;
The pickle was sour,
I bought me a flower;
The flower was yellow,
I bought me a fellow;
The fellow was sick,
I gave him a kick,
And that is the end
Of my arithmetic.

類音性と意味が交互にしりとりを繰り返すうちに、主人公の女性は見事バツイチとなってしまうのである。

ところで和風の愛は、あっさり系なのだろうか？

ぶらくしす

2.0 寿司喰らふ まづい 新妻, プラクシス

さて、いよいよ後半は実践編である(既に結構始まった気もするが)。理論編で述べたように、言語の本質である、

5

6

はCの文字を使うことが眼目であり、意味はその辻褃合わせに過ぎない。そして see はCの字と同音であることの方が「見る」という意味より、遙かにライムの存在意義にとって **大事なのである**。⁴

このように翻訳においては、両言語が類縁性をもつか、稀な僥倖でもない限り、意味と形を同時に伝えることは不可能なのである。翻訳者は高度の判断を行い、何を捨て何を生かして訳すべきか決断せねばならない。これこそ翻訳の最大の困難であり、また醍醐味でもあると言える。そこで、筆者は先のしりとり詩を **次のように訳した**。⁵

佐知さんに会いに
まちへ 行ったら
ジュース代に
10円くれた
ジュースは臭くて
はくさい 買った
はくさい 白くて
やどろく 買った
やどろく 病弱
死んじまい
あたしの算数
もう お仕舞

原詩とかなりの意味の相違があるのは承知の上だが、このライムの「意味」とは類音と意味のしりとりという点にあると思うので、一概に間違いとは言えない。

筆者の native language はあくまで日本語であって、他の言語では十分に言葉遊びの技能を發揮できないので、実践例は日本語でやらせて戴く。パロディやパスティーシュの類の意味に根ざしたのも嫌いではないが、本稿の趣旨からは外れるので割愛する。狭義の言葉遊びの中で、主に得意とするのはアナグラムと回文である。

アナグラムは言うまでもなく、ローマの昔より *ars magna* として、主に固有名詞に適應され、時に預言的価値を見いだされた偉大なる技である。但し、欧米語と日本語を比較すると、音節単位でしか操作できない日本語と比べ、どうしても欧米語の方に分がある。英語でたった3文字の *tea* が *eat* や *ate* に変わるような芸当は、日本語では不可能である。筆者は本業の、公立高校の英語教師をしつつ、生徒の名前でアナグラムを考えたりしているのだが、プライバシーの問題もあり？公表するのは憚られる。架空の人名を使った物なら差し支えないと思うが、元ネタが分からないと面白さが半減するので、『バトルロワイアル』小説版を既読で興味のある方のみ、<http://members.jcom.home.ne.jp/m-asada/roll.html> をご覧戴きたい。以下においては、回文の実践例について考

察を行う。

2.1 穴, 囀炉裏 意味なくカニ見 囀炉裏, 穴

回文 (palindrome) はこれとは逆に、日本語にとって有利なジャンルである。欧米語でも回文は可能だし、中には素晴らしいものも残されてはいるのだが、一般には困難度が高すぎて、誰もが手がけるという訳にはいかない。日本語は音節毎に移動するため、逆から読んでも了解可能となる可能性がかなり高い。ところで、「穴, 囀炉裏, 赤坂」の共通点はお気づきだろうか？分からなければ、ローマ字表記になおしてみてください。この方が録音をプレイバックしても同じに聞こえる回文が作れるのだが、実践例は多くない。興味のある方は是非試みられたい。

トマト, 新聞紙, 鶏と鳥と鱈...とか, 子供の頃, これらの語句の対称性を初めて教えられて, その不思議さに感動を覚えたことはないだろうか。海苔メーカーの山本山は, その商号の対称性を誇示するコマーシャルを流していた。昨年度, 筆者は二十年間勤めていた福岡市の高校から, 北九州市へ転勤したのだが, 勤務地が現代仮名でも古典仮名でも回文となる折尾だったのは, 運命的な気がする。まあ, そんなことはどうでも良いとして, 簡単な回文の作り方をお教えしよう。対称形の語句を対称形に配列すれば, 当然対称形の文が出来

7

8

上がる。従って,

母, トマト 鶏と鱈 トマト, 母

は回文となる。「鶏 永久に」でも良い。或いは, 山村暮鳥のパロディで,

那覇の菜の花

那覇の菜の花

那覇の菜の花

那覇の菜の花

かすか中州か

那覇の菜の花

那覇の菜の花

那覇の菜の花

那覇の菜の花

(あんまりこれやっていると稿料ぼったくりと非難されそうなので中略):

啄木鳥, 木つつき

:

かすか中州か

:

啄木鳥のところは「きつそうな嘘つき」とか, 何でも宜しい。あまりに安易だと思った人, 呆れず次章に乞うご期待。

2.2 回文は ない意味いいな 半分以下

簡単な回文の作り方をお教えしよう。いや, 今度はもう少ししましたから見捨てないで...。まず初めに適当な短い回文を作る。

対電子, 死んでいた。

後は, 「子」と「死」の間に対称語句を挿入していく。

帯電し 白墨, 僕は死んでいた。

以下同様に操作を続けていくと, あっという間に次のような回文が出来上がる。

帯電し, 白墨が燃えた。もし今また, 石を風紋と古い伝統の市で射たら? 僕はイラクが勝つと考えた他を味方に, ともかく歓迎した市に来た。レミマルタン, ただ匂う? おいしさや, 香りなしの水は飲めんね, 致死の幕開きなのに。あの匂いなら川面に馴染む。森羅川面に砧の音が, 遙か我が町へ飛んで行くよ。破綻あるのみが義務の僕の頭はにわかにかに狂い, 死を待つ。人参減らし, 芥子枯らし, 頭支う口ダンな手下。母の食べた喫茶店内は祈りの時, と味方がする推定。餓死た妻子ら, かばっている間は担わない民。かばん語「ニスン」。田を又あんたと大金で売ろうと, 巻きつくこつしか知らない大樫の木。愛した遺体, 首がないならうれしいよ。肉饅・餡饅が食べたいし, また呑みたい。

呪い済みまな板・水まな板，買う予定だけだ。板の値が張るけど。おい，ろくでなし！あの松茸抱く骸骨は何時あそこで蒔いたっけ？椎茸裁判派のリスクは？どのくらいか快樂の度は？薬の販売避けた意志，蹴った今でこそ，熱い初恋が砕けた妻の脚撫で，黒いおどける鋼の鯛だけ抱いて酔う，硬いなまずみみたいな真水色の胃。民の魂食べたガンマン，暗幕に酔いしれ占い長引く。痛々しい秋の鹿多い奈良，鹿しつこくつきまとう。漏電聞いた途端，頭をタンスにごん！馬鹿みみたいな畏にはまる。いてっ！馬鹿らしい沙汰，死骸呈する姿。紙と木と糊の位牌なんて。さっき食べたのは，果たして何だろう，芥子かしら頭かしら？変人に妻を強いる国，河にはまたあの窪の麦が実る。あんたは良く遣伝と糸瓜がわかる？鋼の狸にも分からんし，猪にも分からない。鬼の兄の亡き悪魔の，7年目のはずみのシナリオか，優しい王鬼だ。タンタルまみれ，滝に親しい幻覚。鴨と似た神を讃え，眼窩と塚が暗い薄暮裸体で死のう。飛んでいる布団・毛布を敷いたまま，意志も絶え，もがく僕は死んでいた。

回文というのは，長ければよいというものではないことが，お分かり戴けるだろう。意外性と無意味性は紙一重であり，その幸福な中間を見いだすことこそが回文作家の腕の見せ所なのである。

9

「夜でも」でも成り立つけどね。あの踊りのやる気のなさ，指摘されても仕方ないのでは？

中央大学ではきっとそんな事はないと思うが，
大学は セクハラは癖 迫害だ

武蔵野を流れる入間川は由緒正しい歌枕であり，相撲部屋の名とか，あちこちにその名を留めている。狂言「入間川」で言及される入間言葉とは逆さ言葉だそうだ。と言っても，文字通りに下から読むというよりは，意味の上であべこべということらしいのだが，

曲が円い岸か ゆかしき入間川

この回文縁の景勝に敬意を表したつもりである。

筆者は現在，村上春樹氏の『またたび浴びたタマ』に対抗すべく，あ～わの五十（ほんとは~~な~~だが）の回文俳句かるたを作ろうと画策中である。これらの句のリストについては，<http://members.jcom.home.ne.jp/m-asada/palin.html> をご覧戴きたい。挿絵を募集中です。例えば，次のような素晴らしいイラストを描いて下さった方があります。

また揚羽
むかつき掴む
禿頭



2.3 悔いは残る 泣くなり無くなる この俳句

和歌，俳句の伝統の一部として，回文作りがあった。最も有名で美しいものに，初夢の際枕に敷く宝船に添えられる，次のような回文がある。

長き夜の遠の寝ぶりの皆目覚め
波乗り船の音のよきかな

なぜわざわざ定型で回文を作るかであるが，制限があるからこそ却って作り易くなるということだと思ふ。取り分け，俳句形式で作る場合，五・七・五と全体が対称形の構造をもつため，作成が容易である。下からも読める五文字の句と，回文である七文字の句を作っておいて，それをコンポーネント的に任意に組み合わせることもできる。

グッド・ドッグ 良い犬いいよ グッド・ドッグ
ダイエイだ 博多はタカ派 ダイエイだ

などというのは安易な作品かもしれない。もう少しシリアス路線でいくと，

戦後^{いくさのち} 地雷は要らじ 血の作為

イラク戦争のおかげで忘れられかけているアフガニスタンの地雷ゼロキャンペーン回文など如何だろうか。

SMA Pファンは怒るかもしれないが，
稲垣はモデル 昼でも覇気がない

10

2.4 可愛い和歌 簡単短歌 可愛い和歌

俳句に比べると，短歌は対称形でないため，断然簡単ではない。折り返しとなる十六字目が中の五の4文字目となり，上手にシンクペーションしなくてはならず考えにくいのだ。

水色し 桑の木歩く 魑魅^は喰むは
満ち来る秋の 湧く白泉

この例で言うと，「む」が中央である。

良い芋の主に 鴉や 説いた歌

「いと安らかに 死ぬのもいいよ」

鴉なら「またとはなけめ」と鳴くのは分かるとして，なんでそんな悟りきったような説教をするのか，意味不明だ。

死・海豚は 常に浮く筈 真夏の津

鯨吐く鵜に 熱測る医師

この海豚は腹を上にして浮いたりしてないので，まだ蘇生の望みはあると，まずは体温を測定し，獣医師は懸命に真夏の港で海豚の治療に当たっているという。

良い田螺 良い月 良い鯛 良い恋よ
痛いよ きついよ 死にたいよ

ちょっと絶望的すぎだろうか？

団体さ 大胆だ 咲け，朝顔が

さあ今朝 団体だ 咲いたんだ

辻褄は合ってるけど字余り．同じくこれも字余りだが，

疎水コロイド^{エイトカラー} 8色 お着物も着

おーらかと謂えど 色濃い裾

解釈としては，錯イオンを応用した染料で着物を染めたら，割と原色の強い大らかな色遣いの裾に仕上がった，とか．

蟻，独逸海軍率て^い いい気だな

花抱き^{いいていんぐ} eating いかついドリア

文字通り読むしかあるまい．アリがドイツ海軍の提督になって，薔薇の花束抱いて，ドリア・アルマーニュ風とかを食べている，というところか．アリをフライパンで煎ってドリアに振りかけるとアドリリアとなって⁶回文食品⁶ができる．

最後に，今のところ比較的気に入っている連作を掲げる．これは，宮沢賢治を久しぶりに読んだことがヒントとなったものだ．

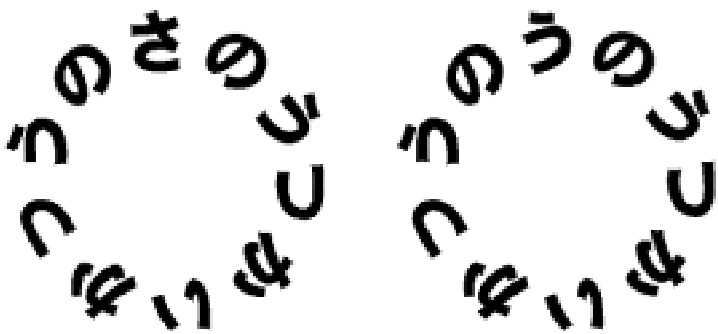
脚気癒えず 牡蠣ビタミンB 誉あれ

まほーびん^{みたび} 三度効かず 永訣か

ジュースばかりで栄養を摂取するような偏った食生活が原因で，脚気を患っている。そこで，牡蠣肉エキス抽出成分入りのドリンク剤で何とかビタミン不足を補って回復を図るわけである。童話やお伽噺でもよくあるパターンで三回反復というやつがあるが，一度，二度までは薬が効いて小康を得る。そこであわよくばもう一度と，茶色の魔法の小瓶に縋るのだ

11

12



ONUつ勝いかつ脳左 右脳つかい勝つUNO

これを応用して，上のような擬回文をつくることができる．このパターンはまだあまり試みられていないようであるのでオリジナリティを主張したいと考える．通常の回文と区別するため仮に「回旋文」と呼ぶことにすると「右脳つかい勝つUNO / 左脳つかい勝つUNO」は二重対称回旋文をなすのである．

回文づくりに働くのは右脳なのかそれとも左脳なのか？

あぽとーしす

が，世の中そんなに甘くはなく，良薬口に餓死...とゆーか，いよいよ永訣の朝を迎える...

心停止 苦痛なくなり 亡き今，妻

いきなり泣くな 美しい天使

そこで，愛妻に宛てた辞世のうたを詠む。もう死んでいるのだが，肉体の呪縛から解き放たれた今苦痛も消えて，清澄な心でこの世の生に執着する人間たちを新たな好奇の眼差しで観察しているってえと，突如妻がわっと泣き出す。そこで，未だ半ば残存する現世の記憶を手繰り寄せて，呼びかけるわけだ。モン・ベランジュ，泣いてはいけない。死とは遂に生が死に敗れた証なのではなく寧ろ，闇の中で光が輝くように限られた期間だからこそ生が一層愛おしく思われる，その意味で生を完結させる壮大な終章であるのだ，と。

以上ご覧戴いたように，まだまだ筆者の修練不足で，美しい三十一文字回文への途は，遥かに遠い．今後とも，ご指導ご鞭撻の程を．

2.5 脳使う 回転低下 迂闊UNO

ここで，ちょっと変わった回文の変種をご紹介しておく．まず，引退した関取の名前であるが，水戸泉．適当なメモ紙か何かを出して「みといずみ」の5文字を円形になるように書いて戴きたい．そこで，「い」の字から逆回りに読むと？

3.0 寿司とポア オウム囓む魚 アポトーシス

...んーと．アポトーシスは何か違う気がする...アポフテグマ...アポクリファ...キリスト教論をやってる訳じゃないし(ゲームの名前と思ってる人もいるかもしれないが)...アポステリオリ...アポカリプソ...でもない．アポロギア...そう，これだ．えー，アポロギアー．

なんせこのような纏まった文章を書くのは久しぶりなので，一つ気合いを入れて格調高いものを目指したのですが，体力が続きませんでした．お見苦しいところをお見せしたかもしれませんが．なおお断りですが，本稿の言葉遊びの分類については，割とアドホーク的なものですので，たとえば文庫クセジュ所収の Pierre Guiraud 氏の古典的著書などをご覧戴きたいと思います．

私はこれまで，自分のライフワークたる詩の訳と言葉遊びの理論的関連について深く突き詰めて考えずに手がけておりました．本稿を書くことで，これまで無自覚的に行っていた二つの所為がどのように相互に結びつくのかを初めて明確にすることができ，本当にありがたい機会が与えられたと思っております．秋山嘉教授と，中央評論編集の方々に感謝申し上げます．

(福岡県立東筑高等学校教諭 英語)

脚注

*1ここではSM, ボンテージといった sexual preference のことを念頭に置いてはいないが, 興味深いアナロジーが成り立つとは言えよう。言葉に対する偏愛は正しい意味で, フェティシズムの一種なのだから。

*2どちらの意味であるかは好きに判断して下さい。

*3ナンセンスコドンなどというものがあるぐらいだから, 遺伝子もきつと言葉遊びをするに相違ない。

*4このライムの拙訳は, 麻田まさと『ねこばんまざあぐうす』(葦書房, 一九九四年)所収。

*5これらの一連のライムの訳については, <http://www.hh.ij4u.or.jp/~m-asada/ISaw.html> で公開している。

*6他には, 「痛々しい死体, 鯛」「餛飩, 豌豆」「エノキタケ, 滝の絵」「おすまし鱒尾」「怪奇, 焼きイカ」「気づかぬ? 衣被 [里芋]」「葛餅, もずく」「毛蟹, ウニがけ」「濃い湯麺, 明太子」「刺身, 寂しさ」「しめじ飯」「寿司, カシス」「節分ブッセ」「雑炊, 吸うぞ!」「高菜過多」「珍味ミンチ」「包み揚げ, 編み筒」「手間取るチルド・マテ [茶]」「トマト煮, ミニトマト」「納豆とツナ」「苦いわ, ずわい蟹」「糠, 好かぬ?」「練馬 [大根] マリネ」「海苔巻き, お決まりの」「パソコン椀子蕎麦」「枇杷, 鮑」「鰯, リブ」「ベーコン神戸」「ボンゴレ牛蒡」「舞茸, 大麻」「蜜柑, 紙」「むかご, 噛む」「飯, 煮染め」「モヤシ, 柳葉魚」「椰子, ちしゃ」「柚子, 葛湯」「余米, マヨ [ネーズ]」「辣油, あら」「リカー, ユーカリ」「ルビー・ピ [ー] ル」「レタス, たれ」「蠟, ぼうろ」「ワイン, 岩」など。